

ホソクロツヤハダコメツキについて

大 平 仁 夫

Notes on *Liotrichus hypocrita* (LEWIS, 1894) (Coleoptera,
Elateridae) from Japan

Hitoo ÔHIRA

National Institute for Physiological Sciences,
Okazaki, 444 Japan

本種は、日光から採集された2頭の標本にもとづいて、G. LEWIS (1894) が新種として記載した黒色の特徴のある種である。その後、本州の中部山岳地帯にも分布することが知られ、その範囲は新潟県、富山県、石川県、岐阜県あたりであるが、中根 (1956) に近畿地方の奈良県 (北山峡) で得られた記録がある。その他、東北地方からは未知であるので、現在知られている分布範囲は関東から中部、北陸地域の山岳地と近畿地域の一部ということになる。

最近になって、岸井 (1985) は本種について、“*hypocrita* は北ヨーロッパ原産でシベリア東部まで分布する *Elater affinis* PAYKULL に極めてよく似た形態をもち、一見識別が困難である”と述べ、さらに“本邦産 *hypocrita* は *affinis* と同種で僅かに分化した別亜種とすべきである”として、本州産の種は旧大陸に分布する *affinis* の亜種とみなした。岸井は、北海道で分化したと考えられる *L. affinis kurilen-*

Table 1.

種	<i>affinis</i>	<i>hypocrita</i>
前胸背板	両側は後角のやや前で弱く内方へ彎曲する	両側は後角やや前で強く内方へ彎曲する (Fig. 1, N)
前胸背板の点刻	やや粗に密に印する	小形で一様に印する (Fig. 1, G)
前胸背板の後角	後外方に向かってまっすぐに伸長する。背面の隆起線は明瞭	末端部は彎曲して突出する。背面の隆起線は弱い (Fig. 1, N)
雄触角	前胸背板の後角より末端 1~1.5 節後方へ伸長する	前胸背板の後角より末端 2~2.5 節後方へ伸長する
前胸腹板突起	末端はやや太まりとがる	末端は細まってやや鋭くとがる (Fig. 1, H)
翅鞘	条線は深く印し、間室の点刻は深くて明瞭	条線は浅く印し、間室の点刻は小形で浅い (Fig. 1, F)
雄交尾器	側突起の末端部の三角形形状部は幅広く外縁の後半は直線状 (Fig. 1, A, B)	側突起の末端部の三角形形状部は幅せまく、外縁の後半は彎曲する (Fig. 1, J, K)

sis (MIRWA, 1928) オオクワヤヒラタコメツキと本州にみられる *hypocrita* とは、分化過程において相同とみているようで、“*hypocrita* は本州高地帯で分化し、*kurilensis* は北海道で分化した共に *affinis* の亜種とすべきものと思う”と記している。

前述のように、本種は関東、中部、北陸地域の山岳地帯に分布が知られているが、東北地方からは未知である。また、本種の類似種は朝鮮半島からも知られていない。本州と北海道で種の分化がみられ、

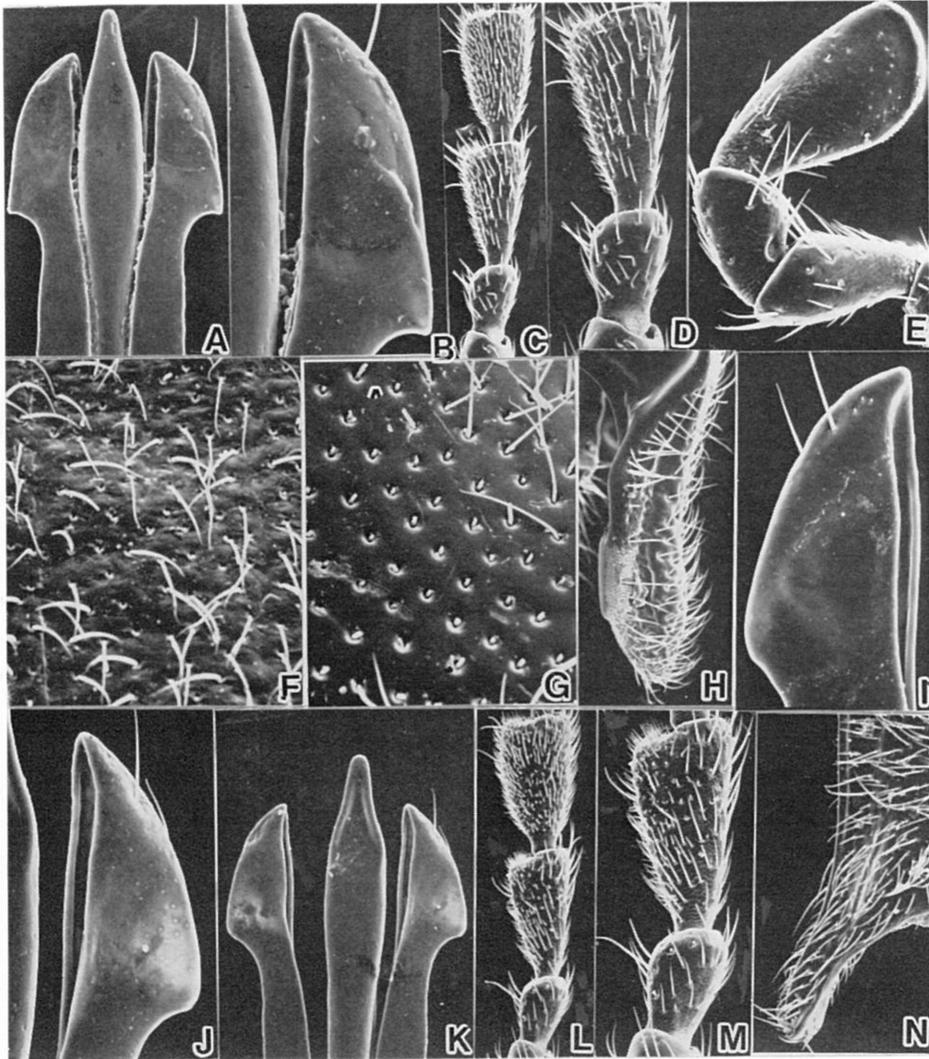


Fig. 1. A-D, *Liotrichus affinis* (PAYKULL, 1800) from Europe; E-N, *Liotrichus hypocrita* (LEWIS, 1984) from Shiga-Kôgen (central Honshu, Japan). — A, B, J, K, I, Aedeagus, dorsal view; C (2-4), D (2-3), L (2-4), M (2-3), male antennal segments; E, maxillary palpus; F, 2-3 intervals of right elytron; G, some punctures on pronotal disc; H, prosternal process, lateral view; N, left hind angle of pronotum, dorsal view.

亜種を異にする例は多いが、基亜種が旧大陸に分布する場合には、本州に産する種の分布域は、通常、中部地域だけに限られず、東北地方まで伸び、朝鮮半島にも基亜種かそれに近いものの分布していることが多い。しかし、本種は分布範囲がきわめて限定されていて、形態にも明瞭な相違がみられるので、旧大陸の種とは亜種の段階を越えて、それぞれが独立種としての位置にあるものと判断される。

形態の概要

体長は 10 mm 内外、体は黒色で光沢を有し、全面に淡黄灰色の毛を生ずる。触角は黒色で肢は黒褐色、翅鞘はやや褐色味をおびることがある。

本種は一般形態がヨーロッパ産の *affinis* に類似するが、表のようなおもな相違点がみられる。

本種は、北海道に分布する亜種 (*affinis kurilensis*) に比べて一般に小形であり、基亜種との差もより顕著である。岸井 (1985) が判断したように、系統的には共通のものから分化してきたものと思われるが、その分化程度はそれぞれがもはや独立種の段階にあると思われる。なお、岸井は、MIWA (1934) により北アルプスの燕岳からの標本にもとづいて新種として記載された *Corymbites alpenis* (= *Liotrichus alpenis*) ミヤマクロヒラタコメツキにも言及しているが、この種の基準標本は台湾省農業試験所に保管されている。原記載では雄とされているが、基準標本を検したかぎりでは雌個体と判断される。

末尾に、本種について種々ご教示をいただいた鈴木 互博士に心からお礼申し上げる。

Summary

Liotrichus hypocrita (LEWIS, 1894) has been found in mountain areas of central Honshu, Japan. Recently, T. KISHII (1985) gave the opinion that this species should be regarded as a subspecies of *L. affinis* (PAYKULL, 1800) distributed from Europe to Siberia. After a careful examination of these two species, the author came to the conclusion that *L. hypocrita* had better be considered to be a valid species. Some morphological structures of this species are shown in SEM images (Fig. 1).

引用文献

- 岸井 尚, 1985. 日本とその周辺地域に分布するコメツキムシについての知見 (4). 月刊むし, (175): 8-10.
- LEWIS, G., 1894. On the Elateridae of Japan. *Annals. Mag. nat. Hist.*, (6), 13: 255-266.
- MIWA, Y., 1928. New and some rare species of Elateridae from the Japanese Empire. *Ins. matsum.*, 2: 133-146.
- 中根猛彦, 1956. 北山峽の甲虫類 (1). *Nature Study, Osaka*, 2 (4): 5-6.